



KIKIGAKI



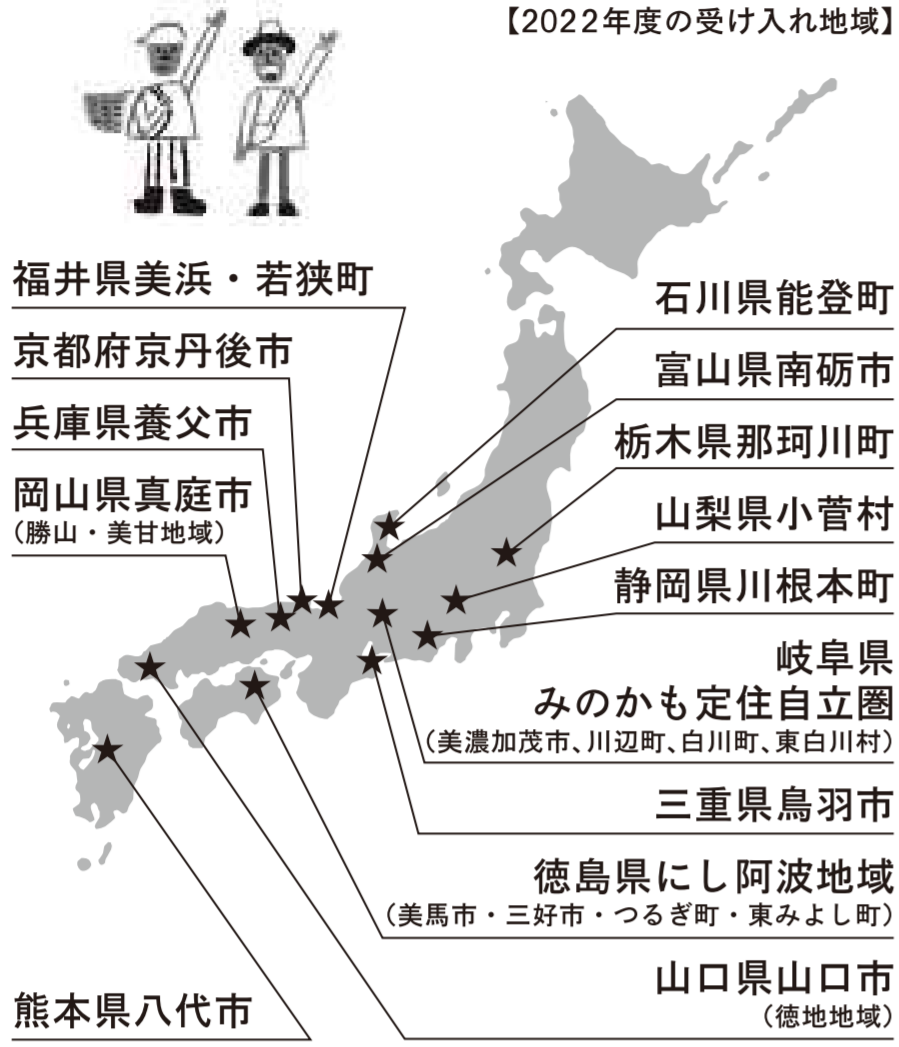
発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2022

<https://www.kikigaki.net>

発行日：2022年5月

取材先は全国に広がる14の地域



21th聞き書き甲子園

第21回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国14の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？



名人に会い、森・川・海の暮らしを未来に繋ぐのはきみたちだ。

聞き書き甲子園の1年

6月23日まで

応募する

よーし、頑張って参加申込書を書こう！



参加者に選ばれた！

8月10・13日

研修 都内・宿泊アリ

OB・OGの大学生たちが聞き書きのコツを教えてください。最初は緊張したけど全国に友達が出来たよ！



名人にアポを取る



9月

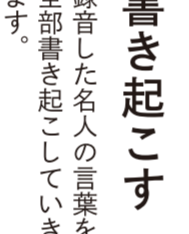
取材をする①



10月

書き起こす

録音した名人の言葉を全部書き起こしていきます。



12月



3月下旬

フォーラム (成果発表会)



お世話になった地域の人が、東京まで発表を聞きに来てくれた。

冊子になる

「聞き書き」作品が冊子になります。名人は喜んでくれるかな？

名人のところにまた訪ねていきたいな。



聞き書き抜粋

白い森のマタギ

山の神様に身を預けて生きる、

「山の名人」齋藤重美 (マタギ・山形県小国町) (聞き手) 藤枝子 (神奈川県聖ヨゼフ学園高等学校1年)

山の神様への信仰

マタギ集団ってのは、山の神様を信仰する団体なんです。自分の身を清めて山の神様に身を預ける儀式を、4月の春熊鷹の1ヶ月前からします。ご飯を炊くときに、家族と自分のを別の焚火で炊く。夫婦であってもご飯の焚火を混ぜないっていう家庭内別居を1ヶ月間やって身を清める。熊鷹の当日、家から出はって山に入るときにも儀式があります。山の神を祀ってる祠が里山と熊鷹の山との逆目にある。その祠に御神酒をあげて、「熊鷹の安全、自分の安全、獲物を授けてください」と参拝します。祠からは山の神様に身を預けることで、山言葉を使うのが掟です。

マタギとして生きて

若いときは毎日山に出はってた。ちよつとくらの吹雪でもな。毎日

参加者の声



おそらく参加しなければ一生経験しなかったであろう海の名人との1対1の対話は、これまでスマホの中で凝り固まっていた私の世界を、大きく押し広げてくれたように感じました。(宮城県Oさん)

言葉一つ一つに名人の性格、経験、人生など多くのものが詰まっていると感じ、対話することのすばらしさを体感しました。また、技術を残していく重要さと責任の重さも感じました。(栃木県Tさん)

自然と共に暮らしている名人は、とてもかっこよくて、楽しそうで、私の憧れです。温かい笑顔で「北海道の孫じゃ」と言ってもらえたことは一生の宝物です。(北海道Tさん)

歩いて歩いて、山も川も全部覚えたんだ。あそこは木が倒れてるからキノコ出るとか、あそこは雪解けが早いから山菜も早くできるとか。山では人に頼ってばかりじゃダメだ。人の先に立って歩いて、危険かどうか自分で判断しなくちゃいけません。たつても覚えらんねえ。そうやってつと、次もすぐその場所さ行けるようになる。

山には動物も山菜もキノコも、川に入れば魚もいる。お金を取っても買えない物があるんだ。マタギになったからこそ山のことがかかるんだ、と今もずっと思ってる。マタギになってよかった。山は俺の宝物だ。

◎名人プロフィール「齋藤重美」年齢72歳/マタギである父から継承した山菜やキノコ採りなど山に関する知識も豊富で、森林の原木の調査も行う。昔ながらのマタギ文化を知る貴重な存在であり、後世に残すために尽力している。(第20回聞き書き作品集より抜粋)

彫刻屋台に魅せられて

「森の名人」黒崎孝雄 (彫工・栃木県鹿沼市) (聞き手) 新井銀汰 (栃木県立鹿沼高等学校2年)

生木を彫る

彫り物に関しては生木を使うのが昔からのやり方。木は水分がある時

の方が柔らかい。水分が抜けると固くなるんだよ。だから彫刻屋台の場合は角材でもすごい厚い木を使うの。乾燥してるとまじ彫りにくい。表面は乾燥してくるけど中まで乾燥するにはすごい時間が掛かるんで、表面が乾いたらやうと中の方は乾いてないの。中は膨らんだ状態になって表面だけが縮んじゃうから割れちゃう。彫り物の場合は彫って穴をたくさん開けていけるので穴の中からも乾燥して割れにくくなるのよ。

生涯現役

彫工の仕事は彫れる限りはやりた。彫り物は半分病気みたいなもんで中毒みたいに辞められないと思うよ。彫っているとき一番心が落ち着く。自分は屋台の彫り物を見て彫りたくなっちゃうんだ。うちら職人がやらなければならぬことって何かを考えたとき、自分が死んで後々の人たちが彫り物を見てやりたくなくなっちゃうような物を残せばいいんだ。それって難しいことなんだけど一番やらなきゃならないことだと思ってる。

◎名人プロフィール「黒崎孝雄」年齢61歳/平成28年「鹿沼の名匠」の1人として地域伝統芸能大賞受賞を受賞。現在も独学で江戸時代からの彫り物に関する調査研究を重ね、資料にまとめている。(第20回聞き書き作品集より抜粋)

集まれ、高校生。



【募集内容】●参加資格 高校生 ●募集人数 96人 ●参加条件 事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。●参加費 無料 (事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。



聞き書き甲子園ウェブサイトから応募できます。

ファミリーマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年より店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じ、こともたちと地球に豊かな未来を残すための活動をNGO/NPOと取り組んでいます。国内ファミリーマート全店で実施している店頭募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と併せて各団体へ寄付されています。その一部が公益財団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に役立てられています。



あなたと、コンビニに。 FamilyMart